

令和 6 年 10 月 8 日

10 月 2 日の質問に対する関係当局からの返答

◎文化スポーツ観光局管理担当課長

10 月 2 日の亀井委員の御質問に対しまして保留をさせていただきました、収入証紙を廃止した他の都府県における窓口での、現金による納付でもよいとしている例につきまして、答弁をさせていただきます。

会計局に確認をしたところによりますと、収入証紙を廃止した他の都府県の中には、窓口で現金納付を受け付けている例がございます。その中には、キャッシュレス化より、先に収入証紙を廃止して現金納付を受け付けていた東京都や、キャッシュレスであっても現金であっても、申請窓口ではなく庁内にある収納窓口に移動いただきお支払いいただく大阪府などの例がございます。

一方、令和 6 年に収入証紙の取扱いをやめた埼玉県では、窓口での現金納付は扱っておらず、金融機関、コンビニでの納付のみとなっております。

意見発表

◆亀井たかつぐ委員

本常任委員会に付託をされました諸議案等について、意見、要望を申し述べます。

まずは収入証紙の廃止についてです。

今常任委員会において、キャッシュレス化を進め、収入証紙を廃止するとの報告がありましたが、キャッシュレス化がイコール証紙レス化となっており、議論が混同することがありました。これは、県民への分かりにくさに即つながると思いますので、一つ一つ整理をして、県民への周知に努めていただくことを要望します。

また、証紙自体についてですが、証紙には証明書兼領収書というような利点があるからこそ長年利用されてきたものと考えます。証紙を廃止することで、かえって県民の利便性が損なわれるようなことがないよう適切な代替手段を整えとともに、手数料の納付方法が変わることで県民が混乱しないよう、また御不便をおかけするようなことがないよう丁寧に対応していただくことを要望します。

次に、GREEN×EXPO2027 におけるステージパフォーマンスについてです。

GREEN×EXPOに会場した多くの人々には、すばらしいステージパフォーマンスの効果も相まって、県民、ひいては日本の魅力を世界に向け拡散していただくことが非常に重要です。そのためには、様々な国籍や文化的背景を持つ人々、障害のある方々など、多くの方々の琴線に触れるような、魅力ある

ステージパフォーマンスを提供することが必要と考えます。そういった意味では、本県には地域に根づいた様々な文化資源や伝統芸能、また、我が国においても雅楽などの伝統音楽や舞踊も多く継承されています。県としてはミュージカルを特出しするような方向性のようですが、ミュージカルの中身をしっかりと吟味することはもちろん、世界から訪れる来場者にとって記憶に残るステージパフォーマンスとなるよう、様々な可能性を広く検討することを強く要望します。

次に、県民ホール（神奈川芸術劇場）及び音楽堂の次期指定管理者の選定についてです。

神奈川芸術劇場、音楽堂の2館についての次期指定管理の在り方については、今回は非公募として進めることに、公募・非公募それぞれのメリット・デメリットを勘案した上で理由があることを理解しました。一方で、再整備後の県民ホールについては、建物の形状や運営方法等にもよりますが、原則である公募での選定はできないのか、このことについても公募・非公募でのそれぞれメリット・デメリットを含め、鋭意、検討を進めることを要望します。

以上、意見、要望を申し上げまして、本委員会に付託をされました諸議案等について賛成を表明して意見発表とさせていただきます。